

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は、昭和57年に学校を卒業と同時に帯広のコンサル会社に就職し30数年間勤務した後、ひと時の休息を経て平成26年度から現在の会社にお世話になっております。

子供達が就職して親としての最低限の努めを終えたこと、同年代が1人2人と体調を崩したり、他界するのを見て、1度きりの人生を見つめ直す時間を作ろうと立ち止まる事を決断しました。ゲスな話ですが、資格(技術士・コン診)があるから何とかなると言って妻を説得しました。

休息中は、何十年もないがしろにしてきた家のことや畑作業を精力的にやりました。しかし、すぐに時間を持て余すようになりパチンコに行ったりしましたが、やがて仕事を欲している自分が居ることに気がつきました。勤勉な日本人の悲しい性?というやつでしょうか。

こうして、50半ばの新入社員となったのですが、前の会社しか知らない私には、今の会社の社風、社内規則、組織運営等々がとても新鮮でした。まさに、リアル井の中の蛙、こんな方法もあるんだとか、逆に前の会社ではこうだったとか……。幸いなことに会社からは、気の付いたことは遠慮せずに提起するよう言っていており、ストレスを溜めることなく時折発信させてもらっています。

転職は、本人も雇う側もそれなりのリスクを負うものです。安易に転職を進めませんが、一度切りの人生ですので、悔いの残らぬよう挑戦するのも良いかも知れません。ただ、本人も雇う側もWin-Winでなければ長続きはしないとされています。

最後となりましたが、ただ今3部門目に挑戦中です。若い方の手本となれるよう頑張り続けます。

井上 誠司 (いのうえ せいじ)

- 建設部門(道路)
- 農業部門(農業土木)

勤務先

北王コンサルタント株式会社



→次号は、佐藤 寛さん(農業/農村環境)

私は、千歳市で生まれ、高校、大学を札幌で過ごし、現在の勤務先に入社しました。

入社後、大気、騒音・振動などの調査解析を行う技術者としてスタートし、学校、社会福祉施設、住居など生活環境に対する騒音・振動調査や予測に携わりました。現地調査では、地先の方から労いの言葉や差入れをいただくこともあれば、時にはこちらの不手際でお叱りを受けることもあり、想定外の場面に一喜一憂しながら従事してきました。その後、北海道という土地柄を反映してか、家畜や野生動物に対する大気質・騒音・振動の影響評価が課題となりました。複数の業務に関わる中、動物影響を評価するための事例や基準はなく、諸先輩からアドバイスをもらいながら苦労して業務を進めたことが思い出されます。

技術士資格としては、2001年(平成13年)に建設部門、その後、総監部門、環境部門を取得しました。試験制度や内容の動向を受け止めつつ何とか合格することができたようです。

技術士取得後は、生活環境・自然環境の区別なく、調査、環境アセスメント、環境配慮・保全業務などに管理技術者として携わり、最近では、部門の中で人材育成や組織運営などを担っています。

環境アセスメントは、法律の施行後、改正も重ねて、手続きに要する期間が長期化しており、特に再生可能エネルギー分野では手続きの迅速化が課題となっています。事業規模に関わらず、開発事業を行う上では、環境配慮や環境保全是欠かせないものであり、今後とも、事業者や地域社会に役立つ技術者として貢献できるように、技術力・人間力の研鑽を続けていきたいと考えています。

佐藤 圭一 (さとう けいち)

- 建設部門(建設環境)
- 環境部門(環境保全計画)
- 総合技術監理部門(建設-建設環境)

勤務先

株式会社ドーコン
環境事業本部 環境保全部



→次号は、木村明彦さん(建設部門)